

2020.12.14
日本銀行山形事務所

今回山形短観における主な判断、事業計画の動き

(2020年12月調査)

1. 業況判断

12月調査では、製造業、非製造業とも改善し、全産業では▲15と前回調査から23ポイント改善した。因みに、前回調査では改善、水準は▲29を予測していた。

製造業・・・化学は前回調査と同水準となったが、電気機械や輸送用機械、はん用・生産用・業務用機械が改善したため、全体では▲25と前回調査から25ポイントの改善となった。前回調査では、水準は▲36を予測していた。

非製造業・・・卸・小売や建設、対事業所サービスなど多くの業種で改善したため、全体では▲6と前回調査から21ポイントの改善となった。前回調査では、水準は▲21を予測していた。

先行き(2021年3月予測)は、製造業は改善、非製造業は小幅な悪化を予測しているため、全産業では▲14と1ポイントの改善を予測。

2. 売上・収益計画

(1) 売上高

2020年度(計画)は、製造業、非製造業とも前年度比▲6.1%の減収となり、全産業でも同▲6.1%の減収計画。

前回調査との比較では、非製造業(修正率▲0.7%)では下方修正されたものの、製造業(同0.9%)で上方修正されたため、全産業では0.1%の上方修正となった。

(2) 経常利益

2020年度(計画)は、製造業は前年度比▲43.2%の減益、非製造業は同▲55.5%の減益となり、全産業では同▲46.4%の減益計画。

前回調査との比較では、非製造業(修正率▲17.1%)では下方修正されたものの、製造業(同55.1%)で上方修正されたため、全産業では30.3%の上方修正となった。

3. 設備投資額（含む土地投資額）

2020年度（計画）は、製造業は前年度比▲3.3%、非製造業は同▲5.6%の減少となり、全産業では同▲4.3%の減少計画。

前回調査との比較では、製造業（修正率3.4%）が上方修正されたものの、非製造業（同▲10.1%）が下方修正されたため、全産業では▲3.1%の下方修正となった。

4. 雇用

雇用人員判断・・・ 製造業は「過剰」から「不足」超に転じたほか、非製造業では「不足」超幅が拡大したため、全産業の「不足」超幅は▲18と前回調査比拡大。先行き（2021年3月予測）の「不足」超幅は横ばいを予測。

新卒採用計画（全産業）・・・2020年度、2021年度とともに、前年を上回る計画。

前回調査（6月調査）との比較では、2020年度（修正率4.1%）、2021年度（同12.1%）とも上方修正となった。

以 上